

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
保育内容・健康Ⅱ	演習	1	山中 愛美
<b>【授業のテーマ及び到達目標】</b> テーマ：健康支援で大切なこと 到達目標：「保育内容・健康Ⅰ」で学習したことを活かし、子どもが健康で安全な生活を送るために必要な援助の方法を実践事例から考察し、将来の教育・保育に活用する。			
<b>【授業の概要】</b> 平成 29 年に改訂された保育指針では、0～3歳未満児の保育内容が記載された。また、健康および安全についても見直され、「食育の推進」、「災害への備え」が新たに追加された。これら改訂の趣旨や背景について「保育内容・健康」の側面から講義・演習形式で検討し、「保育内容・健康Ⅰ」で得た知識や技能をさらに深める。			
<b>【全体の授業計画・内容】</b>			
1. ガイダンス、「保育内容・健康Ⅰ」ふり返り			
2. 幼児教育の基本			
3. 領域「健康」と他領域のつながり			
4. 子どもの育ちと領域「健康」			
5. 今日の子どもたちの姿			
6. 子どもたちの運動能力の傾向			
7. 子どもの運動課題を考える			
8. 健康と安全①－食育－			
9. 健康と安全②－防災－			
10. 健康と安全③－安全管理－			
11. 健康と安全④－健康増進と感染症への対応－			
12. 指導案作成			
13. 模擬授業・保育(グループ①)、ふり返り			
14. 模擬授業・保育(グループ②)、ふり返り			
15. 授業まとめ			
<b>【準備学習の内容】</b>			
予習のあり方：日頃からメディア等で取り上げられている「子ども」や「健康」に関する話題に関心を持つ。			
学習のあり方：子どもへの援助方法や指導方法について考えながら、積極的に受講すること。			
復習のあり方：授業内容を整理し、実践方法を検討する。			
<b>【成績評価】</b>			
授業態度(30%)、模擬授業・保育(40%)、提出物(30%)			
<b>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</b>			
提出課題に対してコメントを付けて翌週返却する。			
<b>【テキスト】</b>			
特になし			
<b>【参考文献】</b>			
文部科学省『幼稚園教育要領』・厚生労働省『保育所保育指針』			
内閣府『幼保連携型認定子ども園教育・保育要領』			